

2023 年度入試 お茶の水女子大学附属小学校（B グループ） 入試速報

※受験生からのヒアリングをもとに作成した速報版です。

●受付

8 時 10 分頃にすでに 50 名近い人数が集合しており、予定より少し早く小学校校舎への誘導が始まる。玄関前に用意された丸椅子で上履きに履き替えるよう指示があり、準備ができた家庭へは検温とアルコール消毒、トイレ誘導を促される。8 時 30 分に校舎の扉付近に男女別に整列。以降、父母控室となる教室へ移動。第一次抽選の当選番号ごと受付ブースが決められており、該当するブースにて受付。【第二次検定払込完了証・健康チェックカード（普通紙カラー印刷したもの）】、【第二次・第三次検定受験票（手続き時に配布された黄色い厚紙）】、【住民票】の 3 点を係の先生に提出。同じタイミングでカゴに入っている封筒から受験生が自由に選ぶ。封筒の中にはゼッケンが入っており、ここに描かれている番号が二次検定の受験番号となる。表記はアルファベット 1 字、1 桁または 2 桁の数字の組み合わせ。B グループの 1 番なら、「B1」。ゼッケンは父母が着用させるよう指示される。なお、ここで引いた二次受験番号は用意した書類 3 点に記され、係の先生から返却される。手続きが終わったら、受付前方にある丸椅子で待機。なお、座席順は二次受験番号の順番で決められている。この丸椅子は後ほど父母の座る椅子になるが、受験生が試験教室に向かうまでは子どもが着席するため、父母はその横で待機することになる。以降、9 時の試験開始まで待機。トイレ引率も可能。先生は数名その場にいるが、持参した折り紙をしたりと自由に過ごせる。※控室内はやや寒く、コートを膝掛けに代用する保護者も多く見られた。

●試験教室へ誘導

9 時にアナウンスがあり、受験生が試験教室へ誘導される。【第二次検定払込完了証・健康チェックカード（普通紙カラー印刷したもの）】、【住民票】の 2 点をこのタイミングで回収。

●保護者面接

およそ 60 名の保護者を受験番号に従って 3 分割にし、番号順に面接室に行って面接をおこなうとアナウンス。終了したら、自分で父母控室に戻るよう指示。はじめに各受験番号列の 3 組が面接室に移動。これ以降は、自分のいる列の父母が 1 名戻ってきたら、次の面接順の保護者が面接室に移動する。なお、面接室は手前に丸椅子が用意されており、衝立を挟んで面接室の中は見えないようなつくりになっている。ここでも 3 組×3 列（うち 1 組×3 列は面接室へ）が待機できるようになっている。面接室に入室するタイミングは前の人が面接を終えて戻ってきたら、20 秒間ほど時間をあけてから入室する。この指示は丸椅子の前に掲示されている。質問内容は以下を参照。前日の A グループとは異なる質問となっている。

＜質問内容＞

- ・受験生の名前、生年月日、現住所
- ・子どもの良いところと悪いところ➡悪いところを改善する為のエピソードほか
- ・ご自身の教育観と真逆のことを教えてください➡回答内容による発展質問

●口頭試問

受験生は試験教室前の廊下で待機。受験番号順に丸椅子に座り、静かに待つように指示される。受験番号順に教室内に呼び出され、口頭試問考査がおこなわれる。なお、呼び出しは「次の人」と言われて入室。室内には先生が1人いるが、後で移動することになるカーテンの奥にもう1人先生がいる。口頭試問中は1対1の対応。終了後、受験生はカーテン奥の部屋へ誘導され、そこで絵本を読んで静かに待っているように指示される。終了後、制作の部屋に移動するが、ここで一度トイレ休憩がある。

＜口頭試問内容＞

- ① 「先生は昨日、こんな人を見ました」と言って動画(iPad)を見せる。友だち同士？親子？が互いにぎゅっと抱きしめあっている映像。その絵を見ながら「あなたは誰を抱きしめたいですか？」と聞かれる。
- ② 向き合わないのに「こんにちは。」と言っている絵はどれですか。プリントにある選択肢は絵で、指をさして答える。選択肢➡2人が同じ方向を向いて頭を下げている絵、互いに向き合って頭を下げている絵、2人が同じ方向を向いて足を開く（歩いている？握手しようとしている？）ポーズの絵、互いに向き合って足を開くポーズの絵の4つ。絵の様子がわからなければ、先生に質問をしてもよいとのこと。 ※受験生によって言っていることが違うため現時点では信ぴょう性が取れていません。
- ③ 【パターン A】4人の子どもがいて6個のドーナツがある。あとから2人の子供が来る。1人何個ドーナツがもらえますか。 【パターン B】4人の子どもがいて6個のドーナツがある。これをみんなで仲良く分けるにはどうすればよいか。
- ④ 4人の人間が描かれたカードがある（1枚に1人）。その絵を見比べて、大きい順を答える。カードを触ったり並べてもよいとのこと。

●行動観察その1

別室に移動し、20名以上で一斉に集団活動。内容は前日のAグループと同様、ジャンケン列車。ラジカセから「貨物列車」の歌が流れて、この音楽に合わせてジャンケンをしていく。前日Aグループとの違いは、活動中は余計なことは喋らずにジャンケンのときだけ発声できる指示があったとのこと。数回やり取りをして最終的に列車が1列になった時点で終了。

●制作

課題:すごろくのコマ作り（鳥）

・材料

ストロー2本、コップ1個、折り紙(12枚)、水色の画用紙に羽のようなものが黒一色で描かれたもの

・道具

ハサミ、水のり、マジックペン(サインペン)

・作り方

後ですごろくをするために、材料をつかってコマ作りをすると説明。モチーフは鳥で、鳥なら何をつくってもよいと説明される。紙コップの底には2つ穴が開いていて、ここにストローを通す見本がある。さらに、水色の画用紙の羽の部分をハサミで切り取って、紙コップの左右に水のりで接着。完成後に受験番号と同じ数字が書かれた丸シールが配られて、紙コップの底（2つ穴の間）に貼る。作業説明はこれだけで、模様や顔などは折り紙やマジックペンで自由に工夫ができる。

●行動観察その2

完成したサイコロで双六をする。ここで、受験番号順位4人グループに分けられ、カラー帽子をグループに合わせて配布。カラー帽子の色は、紫・赤・青・黄・緑・水色など。各グループは、机が4つくついた島に振り分けられる（椅子は用意されていない）。双六シートが配布され、「ジャンケンで順番を決めましょう。」と説明。順番が決まったらサイコロを振って実際に遊ぶ。双六マスにはそれぞれに指示（全員とハイタッチ、その場でジャンプ、全員とじゃんけん、描かれている動物の真似をしてクイズを出す、1回休みなど）があり、そのマスに止まったら指示に合う動作をする。ひとり2～3回サイコロを振ったグループもあれば、ひとりが8回以上サイコロを振ってたくさん遊べたグループもあった模様。ゴールできた子は4名中1人、2人など意見はさまざまあり、グループごとの進行によるものと思われる。

●解散

双六ゲームが終わったら、一度廊下に出て丸椅子に座る。先生が「いいですよ。」と言ったら、父母の待つ控室へ誘導。受験生が間もなく帰還するタイミングで、父母に向けてアルコールティッシュで座席を消毒するよう説明がある。受験生が戻ってきたら、父母は子どもが着けていたゼッケンを回収し、カゴに戻す。終わったら家庭から解散。